

オンライン会議の普及・啓発について

1 昨年度(R6 年)の取組内容

- 推進協議会内でZOOM会議の実演
- 広報誌・推進協だよりに QR コード読み取りを掲載
- QR コードを使用し講演会の出席申込受付及びアンケート回答集計

2 今後の取組の見通し(R7年度第1回推進協の説明)

オンライン会議開催の企画に向けての準備・環境設定をおこなっていく。

➡推進協委員のPC及びスマホのメールアドレス聞き取り。各自のオンライン環境の調査・確認。今後の会議実施の見通しを検討する。

3 委員へのアンケートや過去の意見・感想の状況

(1) 今回の推進協委員のアンケート集計状況(R7年度第1回推進協で調査)

| 質 問 事 項 | 回答状況 |
|--------------------|------|
| オンライン機器(スマホ)の所有 | 96% |
| 自宅(職場)の Wi-Fi 環境あり | 90% |
| メールアドレス有り | 84% |
| オンライン機器(PC 等)の所有 | 75% |
| オンライン(ZOOM)会議の経験あり | 59% |
| ZOOM 会議時の操作の理解あり | 43% |

(2) R6年度第2回推進協(ZOOM 会議実演)の主な意見・感想

〔利便性について〕

- PC は1人1台あった方がいい。周りの環境が大事。その場に来れない人を考えるとツールとしてよい。
- とても便利なので、立ち上げから教えてもらえれば。
- スマホを使うと便利なのではないか。スマホはみんなが持っているので。
- 顔を見ながらできるコミュニケーションツールとしていい。

〔課題と思われる点・懸念される点〕

- 1人1台必要と考ええると、地域での導入が難しい。
- 1つの議題に対して結論を出してまとめ上げるのは大変。
- PC に ZOOM が DL されていない。インストールの過程が難しい。
- 音の調整の難しさを感じた。
- PC でやると機械的な印象を受ける。顔を合わせてやる方がコミュニケー

ションとしていいのではないか。

- 全体として難しいという意見が多かった。どうしたら気軽に使えるかの意見はでなかった。
- 日常的に PC を使う機会がなく、不具合が起きたときにどう直すのか知識がないので難しい。
- Wi-Fi 環境を整えるのも難しい。アプリの DL もわからない。
- ホストの能力・コーディネーター力が求められる。
- 資料が多い場合、画面で見づらい。結果的に手元に資料を印刷して置かないといけないのではないか。

〔今後に向けて・方向性について〕

- 初歩的なところがわからないので手順書があった方がいい。
- 環境を整えないといけない。まずできる人同士でやっていく。全体でやるのはそのあとのステップになるのではないか。
- 気軽に使うには環境を整え、何度も教えてもらう必要がある。勉強会をしてもらえば違うのではないか。
- マニュアル整備をし、数をこなして慣れるのが一番いいのではないか。

4 R7年度第2回推進協での取り組み

オンライン会議実施に際し、ハード面で委員全員の環境を揃えるまでは難しい状況。また、ソフト面でも実施困難な点が多いことが課題となっている。

➡まずは、既存の環境の中で、出来るところから取り組んでいく。推進協内で、オンラインに関する簡単な体験や実演を積み重ねながら、長いスパンで徐々にオンライン会議の普及・啓発を進めていく。

※今回の推進協での取り組み

①メールを使った会議の開催通知の配信

⇒ 今後、メール受信が可能な委員に対して、メールで開催通知や会議資料の配布等を行っていく。

②推進協だよりの自治会宛てメールマガジンでの配信

⇒ 8月に若葉区地域づくり支援課より配信済み。